

新地方公会計制度に基づく 平成22年度の土浦市財務4表を公表します

現在の地方公共団体の会計制度は、その年度にどのような収入があり、それをどのように使ったかといった現金の動きが分かりやすい反面、資産(市が整備してきた施設や保有する土地など)や負債(借入金など)のストック情報、行政サービス提供のために発生したコスト情報が不足しているという弱点があり

ました。これらの弱点を補うのが、発生主義などの企業会計的な手法を取り入れた「新地方公会計制度」に基づく財務4表です。

市ホームページに、財務4表の詳細版を掲載しています。また、各地区公民館にも置いてありますのでご覧ください。

☎ 財政課(☎826-1111 内線2217)

★財務4表とはどんなもの!?

①貸借対照表(バランスシート)

貸借対照表は、年度末時点における市の資産と、その資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを一目で分かるようにしたものです。左側に資産を表示し、右側に負債と純資産(資産と負債の差額)を表示しています。左右のつり合い(バランス)が取れていることから、バランスシートと呼ばれます。

②行政コスト計算書

福祉や教育などで人的サービスや給付サービスなど、資産形成につながらない経常的な行政活動に伴うコストと、使用料・手数料などの収入を表示しています。従来

の会計では捕捉できなかった減価償却費などの非現金コストについても計上しています。

③純資産変動計算書

純資産(資産と負債の差額)が平成22年度中にどのように増減したかが分かります。総額の変動に加え、どのような財源や要因で増減したかの情報を表示しています。

④資金収支計算書

現金の流れを示すものです。市の収支を性質別に区分することで、どのような活動に資金を充てているかが分かります。唯一、現金主義により作成しています。

★平成22年度の財務4表は!?

《普通会計》

①貸借対照表(バランスシート)	
借方 2,060億円	貸方 2,060億円
資産合計 2,060億円 市が保有している財産の内容と金額(行政サービスの提供能力を表しています)	負債合計 544億円 借入金(市債)や将来の職員の退職金など、将来世代の負担で返済していく債務
流動資産 63億円 資金、未収金など	流動負債 54億円 非流動負債 490億円
【うち資金 24億円】	純資産合計 1,516億円
投資等 156億円 出資金、基金など	現世代がすでに負担して、支払いが済んでいる正味の資産(市の資産全体の73%を占めています)
公共資産 1,841億円 道路、公園、学校など	
②行政コスト計算書	
経常行政コスト 365億円	期首純資産残高(平成21年度末) 1,494億円
人にかかるコスト 93億円 職員給与、退職手当など	当期変動額 22億円
物にかかるコスト 105億円 施設管理委託費、光熱水費など	純経常行政コスト △338億円
移転支的コスト 159億円 子ども手当等の社会保障費、補助金など	財源調達 389億円 市税、交付税、国県補助金など
その他のコスト 8億円 支払利息、市税過誤納還付金など	その他 △29億円 固定資産形成、資産評価変動額など
経常収益 27億円 行政サービスの利用に伴い、市民の皆さんが負担する施設利用料や手数料など	期末純資産残高(平成22年度末) 1,516億円
純経常行政コスト 338億円	
④資金収支計算書	
期首資金残高(平成21年度末) 19億円	当期収支 5億円
当期収支 5億円	経常的収支 69億円 人件費、税金、国庫支出金など
経常的収支 69億円	資本的収支 △63億円 固定資産形成支出、貸付金元利収入など
資本的収支 △63億円	財務的収支 △1億円 地方債償還金、地方債借入金など
財務的収支 △1億円	期末資金残高(平成22年度末) 24億円
期末資金残高(平成22年度末) 24億円	

●今年度から、より適正な財務書類を作成するためのシステムを導入し、全ての資産(土地・建物・道路・備品など)を正確に把握するための資産の洗い出しや評価作業を行いました。

●他団体との比較、経年変化による土浦市の特徴などの結果把握に努め、内部管理にも活用していきます。



国民健康保険、後期高齢者医療制度に加入の方へ 日帰り人間ドック・脳ドックの健診費用を助成します

☎ 国民健康保険加入の方…国保年金課国保給付係(☎826-1111 内線2355)
後期高齢者医療加入の方… “ 医療福祉係(☎内線2316)

対象者 / 国民健康保険税または後期高齢者医療保険料完納世帯で、平成25年3月31日現在、40歳以上になる国民健康保険または後期高齢者医療の被保険者。(脳ドックは、平成22・23年度に脳ドックの助成を受けた方を除く)

※同年度内で助成が受けられるのは、人間ドックまたは脳ドックのいずれかです。

申込方法 / はがきに、①希望する健診名、②受診希望の健診機関(脳ドックの受診または日立製作所土浦診療健診センターでの人間ドックの受診を希望される方は第2希望まで記入)、③住所、④氏名(ふりがな)、⑤電話番号を記入し郵送(1人につき1枚)

□人間ドック

健診項目 / 特定健診、眼科検査、聴力検査、胸部X線撮影、胃X線撮影、腹部超音波検査、便潜血検査など

定員 / なし(日立製作所土浦診療健診センターは50人。国保加入者のみ。定員を超えたときは抽選)

助成額 / 2万円

申込締切 / 平成25年1月31日(木)(当日消印有効)

※日立製作所土浦診療健診センターは、4月18日(水)(当日消印有効)

□脳ドック

健診項目 / 特定健診、眼科検査、聴力検査、脳MRA、脳MRI検査など

定員 / 健診機関ごとに下記の表参照(いずれも定員を超えたときは抽選)

助成額 / 2万6250円

申込締切 / 4月18日(水)(当日消印有効)

**健診機関への受診日の予約は、
助成決定の通知後をお願いします。**

《申込はがき記入例》

〒300-8686
土浦市下高津一丁目20-35
土浦市役所
国保年金課 行

表

①人間ドック希望
②受診希望の健診機関
(日立製作所土浦診療健診センターでの受診を希望される方は、第2希望まで記入してください)
③住所
④氏名(ふりがな)
⑤電話番号

人間ドック(裏)

①脳ドック希望
②受診希望の健診機関
第1希望()
第2希望()
(第2希望まで記入してください)
③住所
④氏名(ふりがな)
⑤電話番号

脳ドック(裏)



人間ドック健診機関	電話番号	自己負担額※1
土浦協同病院農村健康管理センター	826-3221	2万円程度
神立病院健診センター	832-8951	
日立製作所土浦診療健診センター(国保加入者のみ。定員50人)	831-5830	
霞ヶ浦成人病研究事業団健診センター(東京医科大学茨城医療センター内)	887-4563	
つくば総合健診センター(筑波メディカルセンター内)	856-3500	
牛久愛和総合病院総合健診センター	873-4334	
筑波記念病院つくばトータルヘルスプラザ(国保加入者のみ)	864-8002	
つくばセントラル病院健診センター	874-7985	
龍ヶ崎済生会病院総合健診センター	0297-63-7178	

脳ドック健診機関	電話番号	自己負担額※1	定員
土浦協同病院農村健康管理センター※2	826-3221	4万370円	70人
霞ヶ浦成人病研究事業団健診センター(東京医科大学茨城医療センター内)	887-4563	2万6250円	300人
つくば総合健診センター(筑波メディカルセンター内)	856-3500	2万6250円	300人
筑波記念病院つくばトータルヘルスプラザ(国保加入者のみ)	864-8002	2万6250円	50人
龍ヶ崎済生会病院総合健診センター	0297-63-7178	2万6250円	50人

※1 いずれも自己負担額は、助成額を差し引いた額です。

※2 土浦協同病院農村健康管理センター自己負担額は、人間ドックの検査項目もすべて含んだ金額です。